

★シェアサイクルについて

シェアサイクル事業は、市民や来街者の皆様の利便性・回遊性の向上と併せ、地域の活性化等を図ることを目的に、公共交通の機能を補完する新たな交通サービスとして導入したものです。

Q 千葉市でシェアサイクルが導入されて以降、ユーザーの実際の利用目的は？
またシェアサイクルに求められている声は？

A 主な利用目的（2023年10月の市民を対象としたWEBアンケートの結果による）

買い物 公共交通機関の無い又は少ないルートでの利用 観光・レジャー 通勤・通学

利用者の要望 ステーションの新設・増設 予約・貸出・返却の利用方法の改善

Q シェアサイクルが普及することによる副次的な効果は何か？

A ●モノの所有から共有に移行することによる省資源化など環境負荷の低減効果。
●外出の機会を増やし軽度の運動にもなるなど健康増進効果。
●ステーションからステーションへの移動を基本とするため路上駐輪を減少させる効果。

Q 今後どのようなシェアサイクル事業の展開を目指すお考えですか。

A 更に、ステーションの増設をし利用者の利便性を図り、バス路線の減便などの補完としても利用できる環境づくりで「失われる生活の足」を守って行きます。

🍴 食を通した健康長寿のまちづくり

日本人の平均寿命は84.3歳。健康寿命は74.1歳。どちらも世界一位。<世界保健統計2023年版（WHO）の発表>

ここで注目すべきは、その「差」。平均寿命と健康寿命には、およそ10年の差があり、この差の年数分は、すなわち「不健康な期間」を表し、健康上で何かしらの問題を抱えながら日常生活を送っている、ということになります。結果、介護や医療ニーズが高まり、社会保障負担の増加、そして勿論、個人の生活の質も低下します。

Q 6月にオープンした千葉市役所新本庁舎レストランの目的や、存在意義は？

A 栄養バランスの良い食事を提供することでの健康維持や生産性の向上を目的とし、現在運営しているレストランは、薬膳要素を取り入れた健康志向をコンセプトとし、栄養バランスにも、配慮したメニューを提供していることから、利用者の健康増進にも寄与できると考える。

Q 学校給食は、完食してこそ、本来とるべき栄養がとれるが、残食率を伺う。

A 残食率を集計している大宮学校給食センターの昨年度の実績は、
ご飯⇒22.8% パン⇒10.1% おかず等⇒9.5% 完食率⇒約86%

小坂の懸念 → **ご飯の残滓率が22.8%と、パン、おかず等と比較し2倍である。**

炭水化物は、脳や体を動かすといった主にエネルギー源として利用される大切な栄養素。ごはんは、ゆっくりと消化・吸収されるため、メリットは

- ①腹持ちが良くなり間食が減る。
- ②体に脂肪を貯めるホルモンの分泌が緩やかで、それに起因する体脂肪の蓄積が抑えられる。

最近注目される「金芽米」

金芽米とは、白米と見た目も味もまったく変わりませんが、玄米の栄養素が備わるお米です。米の周りにある胚芽粉層という栄養価の高い部分を残した特殊な精米方法で仕上げた米で、コシヒカリなどというお米の品種を示すものではありません。よって、お米の品種に関わらず金芽米の製法で精米すれば金芽米になります。

<福岡市の中村学園付属保育園での実績例>

給食の残滓が減らないことに悩んでおり、様々献立の工夫をされましたが効果が見られず、金芽米と出会い、導入してみたところ、ご飯、そして、おかずの残滓までもが減り、平成29年には、完食率、約99.6%を実現。

健康であることが大切な時代です。自転車とご飯は、共に、私たちの暮らしに極自然に浸透しているものです。これらを活かして、健康維持に取り組んでまいりましょう。

<市政に関するご意見をお寄せください> ☎090-8534-8723 ✉sk.kosaka@gmail.com

🌐http://www.kosakasatomi.com 【事務所】千葉市稲毛区柏台1-4-603



—市民と共にまちづくり—

こさかだより Vol.11

立憲民主・無所属 千葉市議会議員団 小坂 さとみ

《令和5年第4回定例会報告書 2024年1月発行》

🚲 自転車を活用したまちづくり

「ちばチャリストイル」基本理念

健康増進・災害時の機動的活用・アクセス向上により地域の活性化・観光振興など、多様な可能性を有する自転車を活用し成熟したまちづくりを目指します。

★安全対策について

昨今、自転車の事故件数は減少傾向にあるものの、自転車に乗る人のルール・マナー違反は、課題となっており、市民から改善を望む声を多く聞いています。命を守る為に本年4月よりヘルメット着用の努力義務化となりましたが、ヘルメットさえかぶれば安全が担保されるものではなく、個々がルールとマナーをしっかりと守ることが肝要！！

Q 小坂の質問
幼児に向けた自転車の正しい乗り方の習得について、どの様な取り組みをされているか伺います。

A 千葉市の回答
自転車教室を開催したり、正しい乗り方を知っていただくため、参考となるYouTube動画を配信しています。

▼ 幼児向け自転車教室

自転車に乗り始める幼児に向け、「乗り方やルールを親子で学ぶ自転車教室」を花見川緑地交通公園などで開催。このほか、ペダルのない自転車を使い、楽しみながら操作方法を学ぶ「デンマーク式自転車ゲーム」を保育所などで実施。



▼ YouTube 動画配信



広く市民の皆様へ正しい乗り方を知っていただくため、参考となるYouTube動画を配信しています。

千葉市建設局道路部自転車政策課
『ちばチャリストイル!』動画サイト



警察庁は自転車の交通違反の検討「青切符」の発行に！

警察庁によりますと、自転車乗用中に亡くなった、あるいは重い怪我を負った方の4分の3以上は、法令違反を犯しているとのことです。



★ 自転車の走行環境について

自転車は、道路交通法上、軽車両と位置づけられており、従って、車道通行が原則ですが、今だ、歩道を走行する自転車が多く、その為、歩行者との接触事故が課題となっています。千葉市は、交通量が多い道路には、自転車レーンや矢羽根の路面標示など、自転車が車道を走る様に喚起を促しています。しかしながら、依然として歩道を走る自転車が多いのが現状です。

Q 小坂の質問
千葉市のこれまでの走行環境の整備状況について伺います。

千葉市の回答

A 昨年度末まで、78キロメートルの整備を実施しています。

「矢羽根の路面標示」59km 「自転車レーン」17km

「自転車歩行者専用道路」などを2km の整備を実施。

市民の声

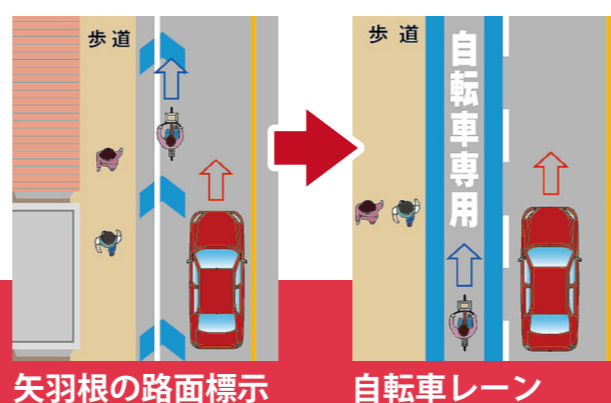
- 自転車で歩道を走るより段差のない車道を走る方が走りやすい。
- 矢羽根の路面標示があっても、交通量が多い道路の車道を走るのは怖い。
- 車で自転車の横を走ることに不安を感じる。

小坂の提案

走行環境整備がなされても、車道を走るのは怖いと感じて歩道走行を続ける人に行動を変えてもらうためには、不安感を払しょくできる道路の環境づくりが必要。

小坂からの要望 「自転車レーンを基本」に！

千葉市はこれまで矢羽根の路面標示を多く整備してきました。しかし今後は、市民の皆様が安心感を持って走りやすくなるように、自転車走行可能な幅が確保された自転車レーンを基本として整備すること、また幅が広い歩道を自転車専用道路と二分割することを検討していただくよう要望しました。



不安感を払しょくできる道路の環境づくりを要望

かつて、政府は【自転車は歩道を走ること】としておりました。これは、世界でも珍しい政策です。1960～1970年代に起きた交通戦争と呼ばれる交通事故の急激な増加を受けて1970年に道路交通法を改正して自動車と自転車の分離のため自転車に歩道通行を許したことから始まっています。

よって、人々が自転車で歩道を走ること、そのなごりによるもので、歩道環境も歩行者と自転車が共に利用できる様に道路設計されたと推察します。政府は、自転車を歩道から降ろし自転車は、車道走行することと、舵を切り直しました。

その判断は、世界基準に戻すものですが、今までの道路環境や人の認識は、すぐに変わるものではありません。注意だけで、人の行動が変えられない現状がある中、道路環境を変える発想が必要だと思えます。本市の取組を期待します。

★ 放置自転車について

かつては駅周辺などでは放置自転車であふれている光景がありましたが、千葉市の努力により近年、その数は激減しています。さて、放置自転車対策に掛かる費用には、自転車の撤去、撤去した自転車の一時保管場所、そして追放指導員などが挙げられると想定しますが、昨今の放置自転車の減少を鑑みると、そろそろ、それらにかかる支出額を減少することが期待されるところです。

Q 小坂の質問
放置自転車対策に関する予算額と放置自転車撤去台数の、過去3年の推移をお伺いします。

千葉市の回答

放置自転車対策に関する予算額（ほぼ横ばい）

令和2年度 約1億800万円 3年度 約1億700万円 4年度 約1億1,000万円

放置自転車の撤去台数（減少傾向）

令和2年度 約8,000台 3年度 約7,700台 4年度 約7,000台

なんと毎年1億円！

みんなでルールを守った駐輪で予算削減につなげてゆこう。

Q 当予算の削減を検討されているか。また、削減した場合の懸念事項は何か？

A 放置自転車の対策である追放指導や撤去活動を縮小すると、減少傾向である放置自転車が再び増大する恐れがあるため、対策を継続的に行うことが大変重要であると認識、必要な予算を確保し、放置自転車対策に取り組んで参りたいと考えております。

Q 放置自転車が多い地域や、その要因と解決に向けた千葉市の取り組みを伺う。

A 放置自転車が多い地域 → 駅周辺 理由 → 一時利用の駐輪場の不足 一部利用者のルール違反
対策 → 継続的な追放指導、一時駐輪場の増設

小坂の提言 「駐輪スペースの確保」を！

自転車の活用を推進することの成果とは、自転車を利用する人が増加することでありますが、その成果に付帯して駐輪場所のニーズが増加することは必須と考えます。千葉市が推進する自転車を活用したまちづくりの推進のベースには、安全走行の取組と並行して駐輪スペースの確保が不可欠であると考えますので、取り組みをお願いいたします。

★ 千葉市の健康増進・環境対策に関する自転車活用の取組について

Q 健康増進・環境対策に関する自転車活用の取り組みは？

A ●「自転車通勤推進企業宣言プロジェクト」の「宣言企業」として、大臣認定を受けた。国土交通省が企業活動における自転車通勤や業務利用の拡大を図ることを目的に創設したもので千葉県初の認定。

●千葉市の「ゼロカーボンアクション推進方針」に自転車通勤を位置付け職員の自転車利用を促進する。